

2012年(平成24年)2月23日(木曜日)



PPSスキームと再生エネなど発表
再開発ビル活性化
ネットが研修会
NPO法人再開発ビル
活性化ネットワーク(藤
山正道理事長)は13日、
大阪市中央区の大府商

工会館で2月研修会を開いた。写真。本年度のシリーズテーマ「創造的コスタウン」に基づき、「PPSスキームと再生可能エネルギーによる事業モデル」など二つのテーマが発表された。藤山理事長は「今後も不透明な時代が続くだろうが、この状況の中でも自分たちの方向をきちんと持つことが必要で、次に環境が変わる時の軸がないと変化に対応できない。特に再開発ビルの商業施設は顧客の変化に素早く対応しないといけない。自助努力で変えてほしい」と述べた。

研修では、日本プレミアムの柳沼紀之代表取締役がPPSスキームなどをテーマに、電力自由化の経緯やPPS(特定規模電気事業者)の電力供給の仕組みを説明。今年7月から実施する再生可能エネルギーの全量買い取り制度なども紹介した。イーストの井上元治氏は「SC運営の効率化、テナント統合管理システム」と題し、家賃請求の歩合計算などをシステム化することで業務の効率化が図られ、コスト削減や空き床対策に注力できるなどとした。